Seminar　セミナー

開 催 日　**平成18年10月6日(金)**

会　　場　**かごしま県民交流センター**

3F 大研修室(第2)15:00～17:00

●車いす姿勢保持協会会長……………………………光 野 有 次 氏

車いす姿勢保持協会会長が語る

「車いすシーティングの課題」

3F 中研修室(第1)13:15～14:45

●シルバー産業新聞社編集長…………………………安 田 勝 紀 氏

介護業界紙編集長が語る

「改正介護保険法について」

3F 中研修室(第1)15:15～16:15

●鹿児島県保健福祉部障害福祉課主幹………………枝 本 健 一 氏

「身障者自立支援法の概要」

※手話・要約筆記あります。

Exhibition　総合展示

10月6日(金)、7日(土) 10:00～17:00

- 福祉用具関連企業展示
- 子供と福祉用具
- 福祉ロボット紹介
- スポーツと福祉用具
- 車いす福祉車両の試乗
- 体験・相談・サービスコーナー
- 家庭で利用する福祉用具
- 福祉科のある学校紹介
- 鹿児島と福祉のパネル紹介

Demonstration　実演会

【第1会場特設ステージ】

10月6日(金) 14:00～、**7日(土)** 11:00～

ユニバーサル ファッション トークショー

「おしゃれをあきらめないために」

山野美容芸術短期大学教授 ……………………………… 渡 辺 聰 子 氏

山野美容芸術短期大学講師 ……………………………… 大 野 淑 子 氏

有限会社ハッピーおがわ ………………………………… 小 川 意 房 氏

〈企画〉野村服飾専門学校講師

鹿児島国際大学 非常勤講師 …………………………… 丸 山 博 子 氏

〈協力〉学校法人 野村服飾専門学校

鹿児島メディカルメイクアップ研究会

10月6日(金)、7日(土) 12:00～ ・15:00～

介護予防としての足指ケア

スキンセラピー協会

リラクゼーションスクール　サークルJoy ………………… 吉 田 政 子 氏

10月6日(金) 10:30～、**7日(土)** 10:30～ ・14:00～

心と体のリラックス

「ストレスと上手に付き合う方法」

鹿児島大学法文学部　助教授 …………………………… 服 巻　豊 氏

ベンチャービジネスラボラトリー研究員 ………………… 佐 伯 陵 子 氏

10月6日11:00 改正介護保険法の福祉用具貸与について（KAKUIX WING／西園氏）

10月6日13:00 高齢者向けの介護食について（キユーピー／山田氏）

10月6日16:00 リハビリシューズの上手な選定について（徳武産業／土居氏）

10月7日13:00 簡単なリハビリグッズを使った介護予防体操（モルテン／島田氏）

【屋外特設ステージ】 ●共遊レクリエーション・ニュースポーツ実演・体験

【前庭特設エリア】 ●車いすバスケット実演　●車いすダンス実演

Symposium　シンポジウム

※手話・要約筆記あります。

開 催 日　**平成18年10月7日(土)** 13:30～16:10

会　　場　**かごしま市民福祉プラザ**

基調講演　国立大学法人　鹿屋体育大学教授　田 口 信 教 氏

「スポーツが，教えてくれるもの　人間の可能性」

パネルディスカッション

テ ー マ **「福祉用具で　ひろがる　せかい」**

コーディネーター

日本福祉大学客員教授

(独)中小企業基盤整備機構理事　後 藤 芳 一 氏

パネリスト

- **実践活動の立場から「あきらめない心」**
  福祉工房あいち代表　加 藤 源 重 氏
- **医療現場の立場から**
  鹿児島赤十字病院作業療法係長　松 元 義 彦 氏
- **開発の立場から「坂の街での福祉用具」**
  長崎大学工学部教授　石 松 隆 和 氏
- **利用者の立場から**
  デイケアハウス「みんなの家」大黒柱　南　愛 子 氏

かごしま県民交流センター／かごしま市民福祉プラザ会場案内図

交 通 ア ク セ ス

■JR九州

鹿児島駅から徒歩……………………………………約10分

鹿児島中央駅から市電・バス利用…………………約15分

■市電・市バス

市役所前又は水族館口下車徒歩……………………3～4分

九州福祉用具フォーラム 2006 in 鹿児島

テーマ

「もっと身近に　福祉と健康」

たしかめよう福祉／環境／衣食住　鹿児島の取組み

開　催　日

平成18年10月6日(金)▶7日(土)　入場無料

展示会場・シンポジウム／セミナー会場

かごしま県民交流センター

（展示・イベント・セミナー会場）10:00～17:00

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 TEL099-221-6600

かごしま市民福祉プラザ

（シンポジウム会場）10月7日(土)13:30～16:10

〒892-0816 鹿児島市山下町15-1 TEL099-221-6070

主　催　**九州経済産業局，独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構**
国立大学法人鹿児島大学(研究協力課)，社団法人鹿児島県工業倶楽部

共　催　鹿児島市，(社)日本福祉用具供給協会鹿児島ブロック
鹿児島県バリアフリー研究会，鹿児島県福祉用具協会

後　援　鹿児島県，鹿屋体育大学，鹿児島工業高等専門学校
鹿児島県教育委員会，(財)かごしま産業支援センター
鹿児島県社会福祉協議会，鹿児島市社会福祉協議会
鹿児島県介護老人保健施設協会，鹿児島県身体障害者福祉協会
介護支援専門員連絡協議会鹿児島，鹿児島県作業療法士会
鹿児島県理学療法士会，鹿児島県レクリエーション協会
日本赤十字社鹿児島県赤十字献血センター，南日本新聞社
NHK鹿児島放送局，MBC南日本放送局，KTS鹿児島テレビ放送
KKB鹿児島放送，KYT鹿児島讀賣テレビ

開催にあたって

近年わが国では、高齢者や障害者が安心して暮らすことができ、可能な限り自立して社会に参加できる環境を整備していくことが重要な課題となっており、そのため各般の施策が推進されています。

福祉用具の利用は、高齢者や障害者の自立を支援し、介護者の負担を軽減するものとしてその重要性が認識されていますが、これらの利用者の心身の特性やその置かれた環境等を踏まえた適切な福祉用具の提供が望まれているところです。

このような状況の中で、経済産業省は独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)と協力し、社会的ニーズを踏まえて、福祉用具の実用化研究開発等を含めた福祉用具産業の振興を図っており、九州地域においても多くの事業者により福祉用具の開発が進められています。

九州経済産業局及びNEDO技術開発機構では、福祉用具利用の重要性についての認識を広く高め、福祉用具の開発・利用を促進するため平成13年度から「九州福祉用具フォーラム」を開催し、今回6回目を鹿児島市で開催します。

今年度は国立大学法人鹿児島大学及び社団法人鹿児島県工業倶楽部とともに「もっと身近に福祉と健康～たしかめよう福祉／環境／衣食住　鹿児島の取組み～」をテーマとして鹿児島市で本事業を実施します。

このフォーラムの実施にあたり、多くの方に「福祉用具」というキーワードを自分の問題として興味を持ち、かつ関係事業者や行政とともにいかに歩むかをイメージしていただきたいと思います。

平成18年9月

九州経済産業局
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
国立大学法人 鹿児島大学
社団法人 鹿児島県工業倶楽部

お問い合わせ先

●**九州経済産業局地域経済部製造産業課**
TEL092-482-5442　FAX092-482-5390
ホームページ　http:／／www.kyushu.meti.go.jp

●**独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構**
TEL092-642-8001　FAX092-642-8012
ホームページ　http:／／www.nedo.go.jp

●**国立大学法人鹿児島大学(研究協力課)**
TEL099-285-7106　FAX099-285-7037
ホームページ　http:／／www.kagoshima-u.ac.jp

●**社団法人鹿児島県工業倶楽部**
TEL099-225-8012　FAX099-225-8020
ホームページ　http:／／www.ikic.or.jp

シンポジウム講演者紹介

基調講演　「スポーツが、教えてくれるもの　人間の可能性」

田口 信教(たぐち　のぶたか)
国立大学法人鹿屋体育大学教授

1951年愛媛県生まれ。広島修道大学大学院修士課程終了。メキシコ五輪参加、続くミュンヘンでは世界新記録で見事に金メダル獲得。国際大会に16回参加し、世界新記録2回。
鹿屋体育大学講師、助教授を経て、93年から教授、現在に至る。

パネルディスカッション「福祉用具で　ひろがる　せかい」

コーディネータ

後藤 芳一(ごとう　よしかず)
日本福祉大学客員教授　(独)中小企業基盤整備機構理事

昭和３０年生、昭和５５年東京工大・修士(機械)修了、同年通商産業省入省 ●平成５年新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)医療・福祉機器開発課長(初代) ●平成７年通産省医療・福祉機器産業室長(初代)、その後、環境指導室長、標準課長、
中小企業庁 技術課長を経て、本年７月に現職((独)中小企業基盤整備機構 理事(出向))。日本福祉大学・早稲田大学・電気通信大学客員教授 中小企業診断士(商業)、博士(工学)

パネリスト

加藤 源重(かとう　げんじゅう)
福祉工房あいち代表

平成3年3月に56才で右手を機械に巻き込まれ、親指の付根1cm程を残して他の4指すべて失う。そして「このまま人生に負けたくない!」「勇気と希望を持とう!」「前向きに生きよう」と必死に自分に言い聞かせ、自分が箸で食事をする補助具を製作。これをきっかけに今、不自由に苦しむ多くの人に自由を与えている。

松元 義彦(まつもと　よしひこ)
鹿児島赤十字病院作業療法係長

1962年　鹿児島市生まれ、九州リハビリテーション大学校 作業療法学科卒業●非常勤講師／鹿児島大学医学部保健学科／熊本リハビリテーション学院 ／鹿児島医療技術専門学校／第一リハビリテーション専門学校
作業療法士、作業療法ジャーナル編集同人、福祉住環境コーディネーター(２級)●その他／手作り自助具の工作技術【三輪書店】執筆多数。生活のくふう作品コンクール等各賞受賞

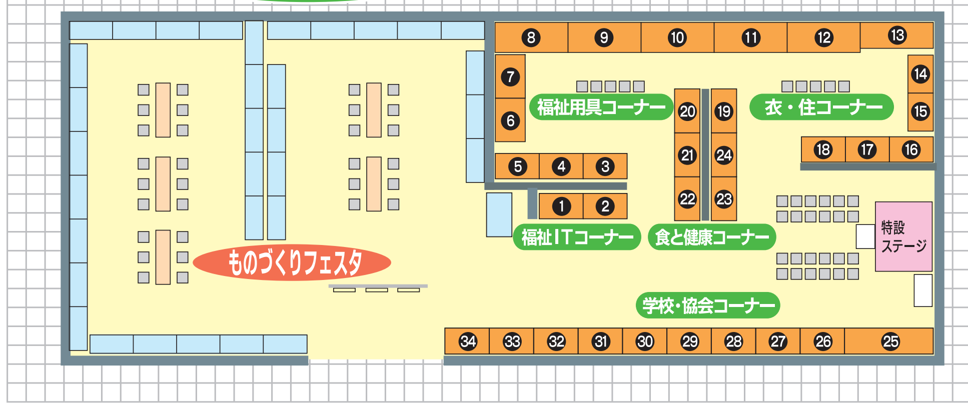
石松 隆和(いしまつ　たかかず)
長崎大学工学部教授

ロボット技術を生かした福祉用具の研究を行っている。特に、最近は在宅の神経難病患者を訪問し、能力に応じたコミュニケーション用具開発を積極的に行っている。また、長崎斜面研究会と高齢者生活支援研究会の事務局長で長崎県内の福祉用具一般の相談窓口として活動。

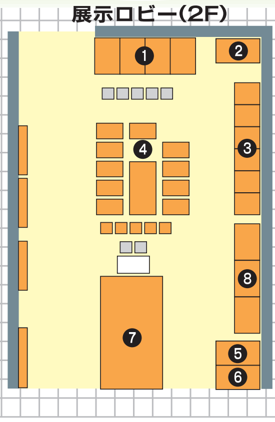
南　愛子(みなみ　あいこ)
デイケアハウス「みんなの家」大黒柱

有限会社IT企画　代表取締役　熊本県生まれ。
訪問介護員(2級) 福祉住環境コーディネーター(2級)
平成18年4月より鹿児島県姶良郡加治木町、築100年の古民家で、デイケアハウス「みんなの家」生活用品店「みんなの便利堂」を立ち上げ、通所介護・福祉用具貸与事業の大黒柱となり、県内各地の地域づくりのメンバーと共に、赤ちゃんからお年寄りまでの生活を支える拠点「家」つくりを行っている。

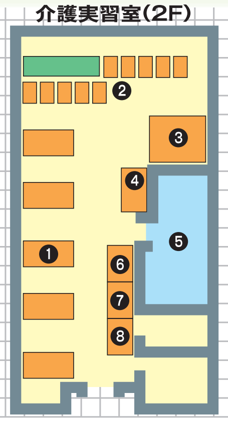
第1会場　かごしま県民交流センター(大ホール)

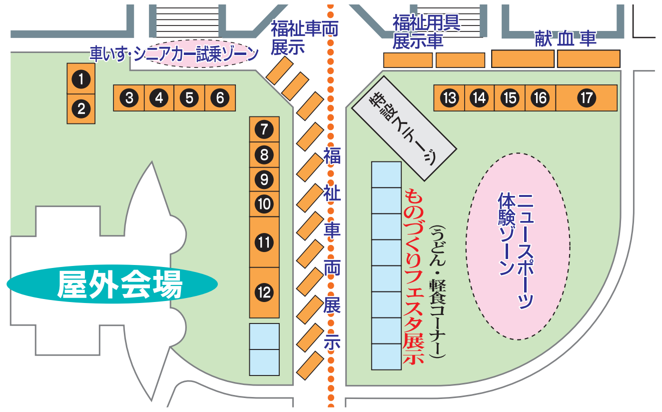


第2会場　展示ロビー(2F)



第3会場　介護実習室(2F)





テーマ「もっと身近に　福祉と健康」
たしかめよう 福祉/環境/衣食住　鹿児島の取組み

第１会場 ―― かごしま県民交流センター(2F大ホール)

番号	企業名	展示内容
①	鹿児島リコー(株)	バリアフリーデジタル複合機
②	南日本マイクロコンピュータ(株)	福祉関連ITシステム
③	(株)エリアトーク	お一人暮らしのご高齢者用緊急通報装置「ご近所110番」
④	大和木材(株)	着脱靴、休息用長いす、リハビリ用パズル、介護臭・脱臭用竹炭ボード他
⑤	橋口漆工房	ステッキとスプーン
⑥	鹿児島県指定補装具組合	義肢(義手・義足)座位保持装置
⑦	イーズウィールチェアー	車いすのシーティング技術紹介(競技用車いす展示等)
⑧	(株)トヨタ車体研究所	福祉車両用カットボディ、電動シニアカー
⑨	(株)カクイックスウィング	あんしんベッド、木製ベッド、マットレス
⑩	(有)鹿児島ウッドクラフト	木製車いす　2台
⑪	(株)フォーエム	快適ベッドシステム
⑫	(株)仙夢	洗畳
⑬	宮崎県福祉機械研究会	研究会紹介、介護・健康シューズ、階段昇降機
⑭	(株)丸松	介護用品(枕・クッション・パット等)
⑮	(株)春園組	抗酸化OMソーラー健康住宅
⑯	山野美容芸術短期大学	福祉への取組み紹介、ファッション実演等
⑰	(有)IT企画	デイケアハウス「みんなの家」の取組み紹介
⑱	(有)ハッピーおがわ	福祉衣服、用品
⑲	田中幸夫建築設計事務所	児童福祉施設パソ児童館とその他の作品
⑳	(株)えらぶ海洋企画	タラソテラピーの効果実証検証資料等
㉑	(株)大阪屋製菓	豆菓子
㉒	坂元醸造(株)	壷造り黒酢、坂元のくろず、及び薩摩黒酢、天然薩摩黒酢、天寿りんご黒酢
㉓	農事組合法人 さつま農園	八万霊芝せっけん、霊芝焼酎の素、霊芝茶
㉔	(株)エコロン	岩塩(入浴剤)さつま霊芝
㉕	国立大学法人鹿児島大学	メンタルヘルス提供プロジェクト、学生ベンチャーの取組み等
㉖	(株)鹿児島TLO	福祉用具関連の鹿児島大学シーズ
㉗	国立大学法人鹿屋体育大学	測定機器・運動マニュアル等
㉘	鹿児島国際大学	福祉への取組み
㉙	鹿児島医療技術専門学校	福祉への取組み
㉚	鹿児島県バリアフリー研究会	団体の取組み紹介
㉛	鹿児島県作業療法士会	自助具、作業療法に関するパネル・リーフレットなど
㉜	社団法人鹿児島県理学療法士会	団体の取組み紹介
㉝	介護支援専門員連絡協議会鹿児島	ケアマネージャー支援システム　展示説明
㉞	日本福祉用具協会鹿児島ブロック	団体の取組み紹介
	鹿児島県福祉用具協会	団体の取組み紹介

第２会場 ―― かごしま県民交流センター(2F展示ロビー)

① 加藤源重氏展示コーナー
② NPOライフケアネットワーク
③ 子供の福祉用具展示
　九州エンゼル
　キヨタ
　パシフィックサプライ
　コクヨ九州販売
　ユーキトレーディング
　フレックス販売
④ 子供用車いす
⑤ 福祉ロボット「ムーソニア」実演
⑥ 癒しロボット「パロ」
⑦ I－unit mini実演
⑧ NEDO助成金開発コーナー
　長崎大学
　ケア・ルートサービス
　長崎かなえ
　安心計画
　システクアカザワ
日本で最初の福祉(和気神社／霧島市牧園町)
島津藩政時代の福祉(島津興業尚古集成館)
鹿児島県離島の介護保険の実情(シルバー産業新聞)
図書資料展示(シルバー産業新聞)

第３会場 ―― かごしま県民交流センター(2F介護実習室)

① 介護ベッド・マットレス・介助バー
② モジュール車いす展示
③ 和室で使用する福祉用具
④ 台所で使用する福祉用具
⑤ 浴室で使用する福祉用具
⑥ 杖類
⑦ 介護食
⑧ 紙おむつ

屋外会場 ―― かごしま県民交流センター(前庭)

① スポーツ競技用車いすコーナー
② 電動車いすコーナー
③ 車いす工房・相談コーナー
④ 本部・休憩所
⑤ リハビリシューズ展示
⑥ 高齢者疑似体験コーナー
⑦⑧ 地域の福祉施設紹介コーナー
⑨ 健康・福祉相談(鹿児島国際大学)
⑩ 筋肉トレーニング機器展示(酒井医療機)
⑪⑫ 福祉車両コーナー
⑬ 鹿児島県レクリエーション協会
⑭ 鹿児島県バスケットボール協会
⑮ 車椅子レクダンス普及会鹿児島支部
⑯ 鹿児島メディカルメイクアップ研究会
⑰ スキンセラピー協会
　リラクゼーションスクール サークルJoy

九州福祉用具フォーラム 2006 in 鹿児島

シンポジウム・セミナー申込書

先着順になっております。お早めにお申し込みください。

A
●基調講演　10月7日(土)13:30~16:10
「スポーツが、教えてくれるもの 人間の可能性」　田口 信教氏
●パネルディスカッション
「福祉用具で ひろがる せかい」
コーディネーター　後藤 芳一氏
パネリスト
● 実践活動の立場から「あきらめない心」　加藤 源重氏
● 医療現場の立場から　松元 義彦氏
● 開発の立場から「坂の街での福祉用具」　石松 隆和氏
● 利用者の立場から　南　愛子氏

B ●車いす姿勢保持協会会長が語る　10月6日(金)15:00~17:00
「車いすシーティングの課題」　光野 有次氏

C ●介護業界紙編集長が語る　10月6日(金)13:15~14:45
「改正介護保険法について」　安田 勝紀氏

D 10月6日(金)15:15~16:15
●身障者自立支援法の概要について　枝本 健一氏

勤務先				
連絡先	TEL　　　　FAX			
参加者氏名	A	B	C	D

上記の通り申し込みます。※BコースとDコースは同時に申し込むことはできません。

送り先　鹿児島県工業倶楽部 九州福祉用具フォーラム2006in鹿児島実行委員会
FAX 099-225-8020
Eメールアドレス：info@ikic.or.jp
※FAX又はメールにてお申し込み下さい。お問い合せ TEL099-225-8012